

「学ぶ力」	
実態	成果
	<p>◇札幌市の共通指標の「分からないことはそのままにせず、分かるまで努力するようにしている」の割合（76.6%（R6）⇒78.9%（R7））が増えたことから、粘り強く取り組む姿勢が高まっていると言える。</p> <p>◇学校評価の「振り返りを通して成長を感じることができたか」において（子ども：88%、保護者 81%、教師 100%）と、肯定的な評価が高い割合として表れている。</p>
	<p>◇札幌市の共通指標の「自分が思っていることや感じていることを人に伝えている」の割合が昨年度より3%上がっているのに対して、「人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直すことがある」の割合はやや減少（0.8%減）していることから、対話によって学びを深め、思考を再構築することに課題があると考えられる。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
	<p>◇札幌市の共通指標の「自分にはよいところがある。」「自分が必要とされていると感じる。」の項目において、札幌市全体の割合と比較すると、それぞれ高め（自校：92.3%、74.3% 札幌市：84.9%、71.9%）であると言える。ひびきあい活動による異学年交流の場を実施していることや行事などの振り返りの場を通して成長を実感していることが自己肯定感の高まりに寄与していると考えられる。「人のよいところを見付けようとしている。」の項目において、札幌市と比較するとやや低め（自校：82.7% 札幌市：87.7%）であることから、相手のこともより大切にしていけるように、場の設定や価値付けを行っていく。</p>
「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力	
深く考える力	
取組	課題探究的な学習の推進 に向けて
	<p>(1)AAR サイクルを意識した主体的・対話的で深い学びの授業の実現のため、「対話によって思考を再構築するためには」を重点とした研究の推進を行う。 （重点：協働探究における教師の関わり）</p> <p>(2)単元を通して子どもの思いがつながるように、問題意識・目的意識をもつための工夫や振り返りを授業に生かす関わりを行う。</p>
取組	自主的な活動の充実 に向けて
	<p>①学級活動・委員会活動における主体性の醸成 →子どもが問題意識をもち、子ども主体で発信するための教師の関わり</p> <p>②「雪」「環境」「読書」と委員会活動との連携 →「雪」雪ウィーク、雪かきチョボラ、雪遊びチャレンジ →「環境」エコスクール宣言 →「読書」読書を推進するための展示や発信</p>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について	
	<p>◇課題探究的な学習の推進に向けて、情報活用能力指導計画に基づいて段階的に ICT 活用能力を高めていく。 →子どもが必要感をもつための基本的な活用能力の向上</p> <p>◇主に①において、Googleform を用いてアンケート集計を行うことで課題を見いだしたり、クラスルームや Googlemeet 等を使って情報の発信を行ったりできるようにする。</p>

<本プログラムの実行に向けて>

